ささえあう地域福祉の情報紙

足立社協ホームページ　ささえあいブログ　公式facebook　足立社協公式LINE紹介

あだち社協 7

July 2023 No.72

特集 地域活動 再スタート……P1～3
あなたのまちのちょうどいい……P4
INFORMATION……P4
●声／ささえあいクイズ

特集 地域活動 再スタート

はつらつ！

新型コロナウイルス感染症の影響で、ずっと中止していた地域の活動が、少しずつ戻ってきました。長い間、待ち望んできたこの日。
今だからこそやりたいことを、皆さんにうかがいました。

社会福祉法人 足立区社会福祉協議会　〒120-0011 足立区中央本町1−17−1 足立区役所南館11階 TEL 3880-5740 FAX 3880-5697
社会福祉協議会は、地域の皆さんとともに、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり（地域福祉）を目指して活動している民間の非営利団体です。

足立社協キャラクター 大樹と小枝

今ここそ
やりたい活動
一文字で
表すと？

特集　地域活動

再スタート

路地裏アートプロジェクトin西新井大師

楽しさは
人に伝染するもの
まずは自分が楽しむ
ことから始めたい！

西新井大師「北参道」のこのまちを、もっと活性化したいと集まった有志により、ダンスとシャッターアート、バンドなどで若い人たちが盛り上がるイベントを始めました。
今年も10月に開催予定です！

MOMOさん
Brilliant Me Dance Studio
インストラクター
路地裏アートプロジェクト
in西新井大師主催

髙橋　純子さん
西新井いきいきサロン 代表
路地裏アートプロジェクト
in西新井大師主催

あれもやりたい！
これもやりたい！
やりたいことが
いっぱい！

人と人とのふれあいを
みんなが待ち望んで
いました

大竹　吉男さん
足立区ボランティア連合会 会長
第31回ボランティアまつり
実行委員長

フードドライブでいいとも！

この活動の主催は、
足立区いいとも実行委員会/社会福祉法人親隣館/株式会社AMAOケア元気/特定非営利活動法人アンドスプーン/社会福祉法人ファミリーです。

子育て世帯から高齢者世帯まで、生活に困窮した幅広い世帯へ食糧寄附をつのるイベント「フードドライブでいいとも！」を5月に開催。
開催に向けて、地域のNPOや企業、介護や医療関係者、民生・児童委員など多くの方が参加しました。

好きな和太鼓も
まちづくりも
チーム和ークが
欠かせません

福田　大輔さん
足立区いいとも実行委員会 委員
社会福祉法人ファミリー
フードドライブでいいとも！ 主催

「思いやり冷蔵庫」活動
がきっかけで
たくさんのつながりを
創り出しました

渡邉　義也さん
社会福祉法人親隣館 理事長
フードドライブでいいとも！ 主催

父親たちよ
立ち上がれ
今度は
我々の番だ

中山
コブラ

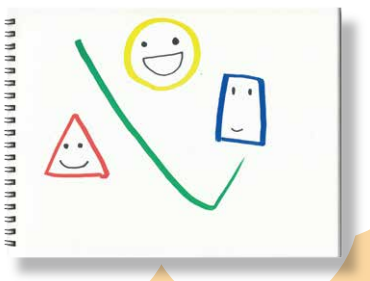
ボランティアまつり

「ボランティアまつりはいつ再開するのですか？」と多くの方から聞かれました。

４年ぶりに開催し、人と人とのふれあいを、これからも大切にしていきたいと改めて思いました。

ぷらちなくらぶ

心の触れ合いを大切に多くの人を支援していきたい！



麦 聖美さん
特定非営利活動法人
ぷらちなくらぶ利用者
（ホームヘルパーさんと）

フラ・ラアケア

フラダンスの慰問活動をずっと休止していましたが、ようやくイベントなどに呼んでいただけるようになりました。

歌って、踊って、ハワイを感じていただきたい！　私たちと一緒に踊ってくださる方を募集しています。

一緒にハワイを感じませんか？

池田 優子さん
フラ･ラアケア
（Hula La'akea）
代表

手話サークル連絡協議会

健聴者とろう者が協力し共に生きることをめざして、さらに手話の普及に力を入れていきたいです。

橋本 靖子さん
足立区手話サークル
連絡協議会 副代表

手話は相手の目を見て話すのが魅力！

中村 美香さん
足立区手話サークル
連絡協議会 代表

コブラクラブ

子育て中のオヤジがつながる場が欲しくて、親子サロンを始めました。地元には特技をもっているオヤジがいっぱいいるはず。その特技を持ち寄れば、いろいろな事ができると思うのです。

勝友さん
ラクラブ 代表

モルックサロン島六

活動を再開したり、新たに立ち上がるふれあいサロンも出てきました。モルックサロン島六は5月にスタート。

モルックはルールが簡単で、誰にでもできるスポーツ。何より屋外で楽しめるのが特徴です。わいわいと和やかな笑顔が戻ってきました。

室内がだめなら外で…大切にしたいのは地域の絆です

佃 照男さん
絆のあんしん協力員
モルックサロン島六 代表

小林 孝子さん
モルックサロン島六
メンバー

P4コラムでも活動を紹介しています

あなたのまちの
ちょうどいい 5

自分にとって「ちょうどいい」って何だろう?

六月 モルックサロン島六

みんなでワイワイできるのがいい!

「10点よ!」
「やった~! 50点!」
朝の島六ふれあい公園に歓声が上がります。モルックは、木製の棒を投げてピンを倒し、点数を競う単純なゲーム。誰でもできて、初めてでも楽しめるのが魅力です。

モルックサロン島六は、地域包括支援センター六月の声掛けで生まれたサロン。今日が活動初日です。コロナでストップしていたサロンの活動ができるとあって、早速10人が参加しました。「ちょっとしたことでみんなで楽しめるのがいいのよね」と好評です。(取材日:令和5年5月2日)

問い合わせ 地域福祉課 TEL 6807-2460 FAX 5681-3374

だいきとこえだのちょうどいいね!

モルックの遊び方

「あだち社協」は、区民事務所や駅の情報スタンドなどに設置しています。また、賛助会員・特別会員には郵送しております。企画経営課 TEL 3880-5740

INFORMATION

福祉施設・団体対象 配分金のご案内

最大30万円まで。
赤い羽根共同募金の地域配分(B配分)の受付がスタートしました。

対象は、利用者への備品整備や研修・講習会など、具体的に地域で活用することを目的とした事業です。詳しくは、東京都共同募金会ホームページを確認いただき申請書をダウンロードのうえ、右記へご提出ください。(郵送または窓口持参)

申請をご検討の団体向けに説明会を実施します

日 時 9月8日(金)14:00~
会 場 総合ボランティアセンターA会議室
形 式 ハイブリッド型(会場とオンライン)

詳しい内容・申請書ダウンロード

【東京都共同募金会ホームページ】
http://www.tokyo-akaihane.or.jp

足立区の施設・団体の申請受付

提出先:足立区社会福祉協議会総務課
〒120-0011
足立区中央本町1-17-1
足立区役所南館11階
電話: 3880-5740
FAX: 3880-5697
提出期限:10月31日(火)※必着

足立区社会福祉協議会 令和4年度決算報告案

皆さまからお預かりした会費・寄附金は、おはよう訪問、車いす貸出、ボランティア活動助成事業などに使わせていただきました。

収入 10億4,365万3,253円

会費収入	8,438,200円
寄附金収入	59,228,967円
補助金収入	597,683,305円
受託金収入	93,096,692円
事業収入	39,254,358円
介護保険事業収入	193,728,249円
障がい福祉サービス等事業収入	34,611,183円
受取利息配当金収入	6,676,966円
その他の収入	10,935,333円

支出 10億1,948万3,423円

法人運営事業	455,793,432円
地域福祉事業	32,750,936円
ボランティア活動推進事業	4,960,465円
助成事業	3,804,529円
生活福祉資金貸付事業	37,233,479円
福祉サービス利用援助事業	25,945,688円
障がい福祉サービス事業	35,890,916円
歳末たすけあい運動事業	976,065円
基幹地域包括支援センター	215,487,621円
地域包括支援センター関原事業	63,798,790円
受託事業	65,234,987円
障がい者保護雇用清掃事業	77,606,515円

※詳細は理事会・評議員会で承認後、7月中旬頃にホームページに掲載します。

問い合わせ 企画経営課 TEL 3880-5740 FAX 3880-5697

足立社協の講座やイベント情報は、毎月「公社ニューストキメキ」(足立区全戸配布)にも掲載しています。次回は10月発行予定です。

ささえあいクイズ
地域活動 ○スタート

○に入ることばは?
ヒントは1面にあります。ハガキまたはホームページ専用フォームより、答え、住所、氏名、年齢、感想を記入のうえ、お申し込みください。
抽選で30名様に、だいき&こえだオリジナルキャラクターグッズを差し上げます。発表は発送をもってかえさせていただきます。(8月31日(木)当日消印有効)

あなたのご意見・ご感想をお待ちしています

クイズの応募先
〒120-0011 足立区中央本町1-17-1
足立区社会福祉協議会 企画経営課

声

71号(令和5年3月号)「認知症 みんなで生きるまちへの15のヒント」を読んで…。(一部抜粋)

●ささえあい、いつかは自分も支えてもらうほうに立つのだからその為にも今は支える方に立つのは当たり前だと思う。でも、どうしたら支えられるのかが分からなかった。こうゆう「認知症の15のヒント」皆に知ってもらうのは良いことだと思う。(舎人 Iさん)

●あだち社協はいつも思うのですが沢山の特集 今回は「認知症みんなで生きるまちへの15のヒント」とても為にもなるし良かったです。(鹿浜 Kさん)

●認知症の特集は自分自身と義母と実母の事を考えながら読みました。参考になる事ばかりでした。(足立 Oさん)